

2023年度

二チキッズ与野駅前保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2023年12月25日（月）～1月26日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月19日（月）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	保育理念を意識し、振り返る話し合いを繰り返し行ってきた。子どもの主体性とは何か、子どもの最善の利益とは何かを考え職員間で意見交換した。ありのままの姿を受け入れ、あたたかく接し、わかりやすく導くことの大切さを意識して保育にあたるよう努めた。
子どもの発達援助	先の見通しを持ちながらも今必要と感じる援助を考え、PDCAサイクルをしっかりと行った保育をした。毎日の15分MTGで子どもの姿の共有をし、職員みんなで子ども達の発達を見守る体制を作った。
保護者に対する支援	保護者から離れている時間の保護者の不安を理解し、安心できる言葉で対応するよう意識した。また、行事等を通じて室内にお招きし、園生活の様子が少しでも伝わるよう努めた。
保育を支える組織的基盤	外部研修、内部研修を通しスキルアップを図った。また、職員会議にて研修内容の共有をすることで園全体のスキルアップを図った。学んだことを具体的に保育に活かせるように更なる向上を目指していく。

総評
話し合い、意見交換の場を設け、お互いの共通理解のもと計画を可視化するようにしたこともあり、今大切にしたい子ども達への思いを形にできていたように感じる。「おもいっきり遊ぶ」「おもいっきり学ぶ」の本質を理解し、保育をより深めていけるようになると更に良い関わりができるようになると思う。研修をもっと受けられる機会があると質の高い保育を目指すきっかけになると感じている。また、保護者とのコミュニケーションも引き続き丁寧に行うよう努め、園と保護者とが手を取り合って子ども達の成長を見守れるようにしていきたいと思う。